

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・競合店の大型店舗の出店から1年がたち、落ち着いたこともあり、前年同月比で販売数量が100%弱と前年並みに回復している。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・来客数は前年並みで、客単価は横ばい状態だが、コンビニの強みのファーストフードが販売個数を伸ばしている。
		衣料品専門店（ 経営者）	お客様の様子	・客が以前よりも価格を気にしなくなってきたように感じる。
	ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・同業他社が客単価を落として集客を図っている中、客単価の低下現象はあるが、メンテナンスを行ったお陰で来客数は増えている。	
変わらない	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・月初は恒例の物産展が好調であったことに加えて、気温が下がったことから婦人服秋物衣料を中心に順調に推移していた。しかし、台風後は一転し、月末は幾分か天候も安定し、回復の兆しが見られたものの、新潟県中越地震により客の動向はストップし、前年同月比では4%の微減となっている。	
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・競合店が近くにできたことから来客数は減少しているが、客単価は前年同月より上昇していることから、トータル的には変わらない。
	家電量販店（副 店長）	競争相手の様子	・購入を決定するまでの期間が長くなる傾向にあり、客が高額商品の購入に対してより慎重になっている。	
	その他専門店 [楽器]（経営 者）	販売量の動き	・先月に比べれば若干、売上は減少しているが、前年同月に比べると安定している。	
	観光名所（職 員）	来客数の動き	・来客数は対前年同月比で98%だが、台風の影響を除くと103.8%であり、昨年10月は来客数が16%ほど伸びた月であることを踏まえると、沖縄観光は相変わらず好調である。来客数は修学旅行客、団体客が中心となっている。	
やや悪く なっている	コンビニ（経営 者）	単価の動き	・ここ3か月、客単価が対前年比で0.3%ほど下落している。	
		その他飲食[居 酒屋]（経営 者）	来客数の動き	・例年に比べて平日の来客数が減少している。週末は例年並みだが、週の前半に実施している低価格イベント時に来客数は集中しており、後半期には少なくなっている。
	観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・先月に続き、台風の影響により売上が下落している。新潟県中越地震の影響も出ている。	
	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・国、県、市町村の公共工事の発注が激減し、契約高が低迷していることから景気は悪化傾向にある。	
悪く なっている	一般小売店[衣 料品・雑貨] （経営者）	販売量の動き	・観光客の形態が個人から団体へ移行する時期になり、ホテルなどのインショップ店での売上は安定しているが、路面タイプでは来客数が減少しているため売上が上昇していない。時期や観光客のニーズにあったオリジナルティのある商品開発を各店舗ごとに行う必要性を感じている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・引き合い件数が増加している。
	変わらない	輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・売上は多少の増減はあるものの、増加している。しかし、原油価格の高騰で燃料業者も自助努力はしているものの限度をオーバーしており、燃料の値上げ交渉に応じ、互いに痛みを分ける形で単価を決定しているため、経費増で利益は横ばい状態である。
		通信業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量が一定レベルでコンスタントに推移している。
		不動産業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・受注量や問い合わせ件数が横ばい状態である。
やや悪く なっている				

	悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連	良く なっている	求人情報誌製作 会社（営業担 当）	求人数の動き	・求人情報業界において価格競争は激烈となっているが、求人広告を出す企業は増えており、求人数も増加してきているため、総合的には良くなっている。	
	やや良く なっている	職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・新規求人数は3か月前比で25.1%増加している。雇用形態等でみると、一般求人は構成比82.5%で、3か月前比で28.4%増加しており、パート求人は構成比17.5%で3か月前比11.6%増加している。産業別でみると、建設業、製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、サービス業の各産業で求人が増加し、飲食店・宿泊業、医療・福祉業、複合サービス事業では減少している。有効求人倍率は0.48倍で3か月前比で0.06ポイント上昇した。	
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	それ以外	・派遣依頼は引き続きあるが、単価が非常に低くなっており、思いもかけない人件費単価で入札が行われている。また、依頼があってもなかなか人が集まらず、ミスマッチが最近また表面化してきている。	
			学校〔専門学 校〕（就職担 当）	求人数の動き	・求人数は順調に推移しているものの、特に大幅な増加傾向はなく、安定している。
			学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・本土企業からの求人数は増加傾向にあるが、県内企業については大きな変化はない。
	やや悪く なっている	-	-	-	
悪く なっている	-	-	-		